

2019.8.6 火

模擬授業に参加を希望する方は、
 予約システムにてお申し込みください。
 右のQRコードにアクセスしてください。



放射線 学科

からだの分子イメージングの世界

核医学診断技術は、病気の診断や臓器・組織の機能について分子状態の変化を捉えることができます。正に病気になる前の分子変化の状態を画像として描画できる技術です。原子・分子の世界が作り出す技術を紹介いたします。

時間 ①10:05～10:45

場所 校舎棟1F 182

担当教員 福士 政広教授

放射線医学＝テクノロジーの進歩に乗れ

放射線医学は、19世紀末にX線が発見されてから誕生した若い学問です。内科学や外科学は数千年の歴史がありますので、放射線医学は黎明期と言えます。また、放射線治療、画像診断の世界はテクノロジー、コンピュータの進歩によって近年大きく飛躍しました。本公演では、放射線医学の実際についての概要を紹介いたします。ぜひ、最新医学のサイエンティストになって、さらなる進歩を担ってください。

時間 ②13:00～13:40

場所 校舎棟1F 182

担当教員 白川 崇子教授

”石”で放射線を測る？～先端医療への応用～

私は、「古典的な物理現象を先端医療に！」をモットーに、古くから知られている天然岩石や鉱物の物理特性を利用した放射線検出器の開発に携わっております。当日は、動画にて“岩石が発する不思議な光”をご覧いただき、この光を利用した最新の放射線イメージングデバイスについて紹介いたします。

時間 ③15:15～15:55

場所 校舎棟1F 182

担当教員 眞正 浄光 准教授

放射線学科の魅力

放射線学科では放射線技術学の習得とともに機器のデジタル化に対応した情報処理能力の高い技師の育成を目指しており、そのためのカリキュラムも他大学と比べて充実しています。所有する放射線装置は、診断領域ではX線CT装置をはじめとする10台以上のX線撮影装置とMRI装置、核医学領域ではSPECT/CT装置、放射線治療領域では高エネルギー発生装置などが整っています。また、首都圏に点在する国や都県の大型放射線研究施設の利用や研究・教育の相互協力体制が特に充実しています。教員と共に多くの学生が、この充実した研究・教育環境を利用して最先端の研究に取り組み国内外の学会にて発表を行っています。

ひとこと

教育・研究環境が整っていることはもちろんのこと、業界屈指の就職率を誇る本学科で、診療放射線技師を目指してみませんか？大学院進学率も高く、高度医療専門病院の放射線専門技師や医学物理士、そして放射線科学の発展に寄与する研究者・教育者のリーダーを目指す多くの学生が頑張っております。